

視点

View Point

いちかわ だいぞう
市川 大造 氏

長野商工会議所松代支部長
不二越機械工業株式会社 代表取締役社長

歴史的建造物など見どころの多いまちでありながら、松代は人口減少や交通の利便性の低下、企業の後継者流出、人材確保の困難さといった課題を抱えています。長野商工会議所松代支部として、まちの魅力をもっと発信、お金を落とすというまちづくりのお役に立てたらと考えています。松代に「住む人」の意見に「来る人」の視点をマッチングさせながら、「ワクワクする松代」を目指します。

「住む人」の意見に「来る人」の視点をマッチングさせ、「ワクワクする松代」をつくる

後継者流出に悩む 小規模個人事業主

長野商工会議所松代支部長に就任されたことへの思いをお聞かせください。

市川 長野商工会議所の議員になって私はまだ3期目ですし、しかも、松代に会社はあるものの住んだことがありません。ある意味で松代のことを知らずに大役をお受けしたのが実情です。

支部長になってから松代のことを勉強し始めたところ、松代城や真田邸といった歴史的建造物、まち並みなど、見どころの多いまちだと改めて知りました。一方、まちの魅力を活用しきれていないことにも気づきました。また、人口は現在1万6千人前後にまで減っていますし、公共交通機関の電車がなくなり、バスも減便されたこともあって、長野市のなかでも人の出入りの少ない、閉鎖的な地域になりかねないと懸念しています。とはいえ、現状に悲観的にならず、このまちの魅力を活性化の起爆剤として活用できたらと願っています。

企業の状況に目を向けると、松代地域に多い小規模事業者は後継者の流出で悩んでいます。後継者がいないために廃業せざるをえない会社もあり、その結果、事業所数も年々減っています。この地域で事業を継承することが前向きな選択肢になるよう、事業所の利益をいかに確保していくかが課題です。

人材確保も容易ではありません。小規模事業者は、大手志向の強い今の若者の目に触れにくい。うえ、交通の利便性の悪さも松代への就職意欲を減じさせています。しかも、通勤や生活には必ず車が必要なのに、道路幅は狭く、沿道のまちづく

恒例の行列がまちを練り歩きます。また、7年に一度の善光寺御開帳に向けて、回向柱寄進建立会が結成され、善光寺へ寄進する木を選定します。御開帳の開催は来年の4月からですが、松代にとっては今年が本番です。ただ、物価高騰の影響もあり、いずれの祭事も運営が難しくなっていますので、残すべきところ削るべきところを見極め、効果的なアピールを行うことで、お祭りを楽しみにしている人の期待に応えます。

冒頭で申し上げた通り、松代に住んだこともない私が、議員になって3期目で支部長という大役を仰せつかりました。ある意味イノベーターとして、若く行動力のある副支部長の力も借りながら、まずは好き勝手にやってみます。住民ではない私の「来る人」の視点と松代に「住む人」の意見をマッチングさせることで、「ワクワクする松代」を創造できたらと願っています。

本誌読者の事業者で、松代のことをよくご存知の皆様へお願いです。松代の「失いたくない価値」について意見を聞かせてください。多くの意見をいただき、皆様と手を取りながら松代のあるべきひとつの形をつくっていきましょう。



PROFILE
昭和50年1月25日生まれ。湘南工科大学大学院工学研究科 電気工学専攻修了後、不二越機械工業株式会社に入社。取締役、専務取締役、代表取締役専務を歴任し、令和元年5月より代表取締役社長に就任、現在に至る。

りと一体的な道路整備も進んでいません。

「外貨」を稼ぐための発信と まち並み整備

—— そうした課題に対し、松代支部として果たすべき役割は何でしょうか。

市川 まず、情報発信です。松代の魅力をまちの人が認識していても、「外貨」獲得、つまり町外からお金を持つてくるために、アピールする力が弱いと感じています。たとえば、狩野探幽筆の絵が描かれた格天井のある長國寺などは、もっと観光客に見てもらうべきです。公開しながら文化財の保存費用を賄い、後世に残すことが、まちの活性化にもつながります。SNSもうまく活用すれば、人が人を呼んで、人の流れを変えられます。

次いで、お金を落とすという場所づくりです。人が遊びに来て、お茶を飲んだり、何か食べた後、お土産を買ったりできる場所がもっとあってほしいと思います。その際に大切なのは、利便性の高い駐車場を確保することです。まち歩きのリート設定をしたら、その拠点として、松代での一日の過ごし方を腰を据えてじっくり練られる場所も必要です。まち歩きセンターをバス停のある旧松代駅と一緒の場所にするのも一案です。もちろん、まち並み整備にあたっては、長野市への働きかけも必要になりますので、長野商工会議所一体で陳情等に努めます。

また、中小企業の後継者流出に歯止めをかけるためにも、若い人の移住を増やせたらと考えています。お祭りを開催すれば子供たちが大勢集まっているように見えて、それでも人口が減少していくのは、生産労働人口が流出し、その子供たちも一緒に町外へ出てしまっているからです。

若い人たちは生活のしやすさを評価するものの、静かなだけの環境ではアピール力に欠けます。ここに住むメリット、子育てするメリットは何か、考えていかなければなりません。たとえば、子供たちが遊べる場所、家族で食事できる場所が、松代には思ったほど多くないのではないのでしょうか。

水野会頭が「住む人 来る人 ワクワクする街 長野」とスローガンに掲げる通り、松代の住む魅力、訪れる魅力、観る魅力を高めていくのが、松代支部の努めです。

善光寺御開帳に向け 回向柱寄進建立会を結成します

—— 松代支部が今年度計画している事業にはどんなものがありますか。

市川 4月には信州松代春まつりを開催しました。松代城跡でのライトアップは、折よく桜の満開と重なり、昼間とは違う幻想的な桜を目当てに多くの方に足を運んでいただきました。10月には、松代藩真田十萬石まつりを開催し、

DATA
不二越機械工業株式会社
[設立] 昭和27年5月27日
[所在地] 長野市松代町清野1650
[TEL] 026-261-2000
[事業内容] 半導体加工装置および周辺装置の開発/設計/製造/販売

横顔
趣味のゴルフは、最近仕事の付き合いでラウンドすることが多くなった。車好きでもあり、運転して一人になれる時間を大切にしている。いつか、BMW2002のような古い車に乗るのが夢。